

第1回 横浜市総合保健医療センター指定管理者選定評価委員会 議事録

日 時	平成 27 年 5 月 11 日 (水) 18:00~19:00
開催場所	横浜市総合保健医療センター 4 階 会議室
出席者	工藤委員、浅川委員、戸高委員、藤原委員、沖野委員
欠席者	なし
開催形態	公開 (傍聴者 3 名)
議 事	<p>1 委員長の選出 委員の互選により委員長を定めることとされているが、意見が出なかったため、事務局に一任。事務局より工藤委員を委員長に推薦し、承認を得た。</p> <p>2 会議の公開について 次回 (第 2 回) の委員会については、審議の中で指定管理者の経営ノウハウや人材育成といった企業秘密にかかわる部分があるため、非公開とすることを事務局より提案し、承認を得た。</p> <p>3 業務の基準について 4 申請要項について (一括審議) 事務局より案を説明後審議し、事務局案で確定。 【主な審議】 委 員：前回と比べて、大きく変わっているところはあるか。 事務局：大きく変わったところはないが、申請要項に記載している法令を最新のものに更新した。また、業務の基準について防災や情報セキュリティに関する事項を追加している。 委 員：就労支援センターの運営はなかなか予定通りにいかない、との話を聞いたことがあるが、業務の基準に変更はあるのか。 事務局：業務内容は大きく変えていない。なお、総合保健医療財団は外郭団体として各事業における協約 (目標) を定め、その達成に向けた取組を行っている。</p> <p>5 評価項目及び評価基準について 事務局より案を説明後審議し、事務局案で確定。 【主な審議】 委 員：前回行った第 3 者評価と、採点方法は異なるのか。 事務局：第 3 者評価では各項目ごとに点数ではなく A B C で評価を行ったが、今回は 100 点満点の 70 点以上を取れなければ申請内容を見直すよう求めることとしている。 委 員：評価項目の中に「各施設との連携」とあるが、地域との連携についてはどのようなことを期待するか。 事務局：各区において精神障害者を支援する者の人材育成や、スーパーバイズといった点で地域と連携できると考えている。</p>

	<p>委員：今説明されたことが、申請書に書かれるのか。</p> <p>事務局：事務局としては書いてもらいたい。</p> <p>委員：評価項目の下に細かい内容が書かれているが、申請者からの申請書はどのような形で出てくるのか。評価項目毎か。内容毎か。</p> <p>事務局：評価項目毎に、それぞれの内容を盛り込んだものにしてもらいたいと考えている。</p> <p>委員：診療所、老健、精神障害者支援施設でいずれも同じ項目を記入することになっているが、施設によって異なるのではないか。</p> <p>事務局：施設によって、重点を置く項目は異なる。</p> <p>委員：収支及び利用者数について、今までどのような実績で、今後どのようにしていくのか、という観点が必要ではないか。</p> <p>事務局：今までの実績については申請者から提出させる。 申請者から提出する資料について一部追加し、委員長に確認頂く。</p>
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市総合保健医療センター指定管理者選定評価委員会名簿 2 横浜市指定管理者制度運用ガイドライン 3 横浜市総合保健医療センターの指定管理者の指定に関する要綱 4 横浜市総合保健医療センター指定管理者選定評価委員会運営要綱 5 業務の基準（案） 6 申請要項（案） 7 評価項目及び評価基準（案） 8 横浜市総合保健医療センター条例 9 横浜市総合保健医療センター条例施行規則